

自社開発の電子機器が異常動作したときに、当センターのEMC関連装置を用いて再現実験を行い、結果をもとに回路にノイズ対策を施して製品を改良することに活用できます。



自社開発の電子機器をテスト運転していたら、異常動作してしまいました。原因究明のためどのような試験をしたらよいでしょうか…。

それでは、当センターのEMC試験室と測定機器を使って、4種類の再現実験を行います。



使用する装置(環境)



- 電波暗室
- シールドルーム

利用方法	主な項目
設備使用	電磁波半無響システム (電波暗室) 電磁波遮蔽システム (シールドルーム) 各種EMC測定機器

* 料金は別途料金表をご確認ください。

調査手順のイメージ

試験① → ○

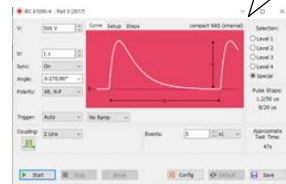
装置に静電気を与えて、異常が発生しないか確認



試験①

試験② → ○

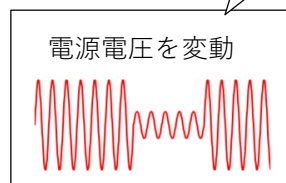
装置の電源にノイズを与えて、異常が発生しないか確認



試験②

試験③ → ○

装置の電源電圧を変動させて、異常が発生しないか確認



試験③

試験④ → × 不具合発生

装置に電磁波を当てて、異常が発生しないか確認



試験④

当センターでは様々なEMC測定装置を備えていますが、その中から適切な装置の選び方や操作方法などを職員がていねいにご説明いたします。お気軽にご相談ください。



原因は電磁波のようですね。回路やケーブルに対策をしてみましょう。

回路に対策して再試験したら、今度は正常に動作しました。今後の製品にも活かそうです！

